

病後児保育室の受入れ目安

【受入れの条件】

- 事前に医師の診断を受けていること（受診後の電話予約）
- 一般に風邪と呼ばれる状態
- 骨折、やけど、外傷等外科的病気
- その他、担当医が利用可能と判断した状態

【受入れできない状態】

- 伝染性疾患（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、流行性角結膜炎、ロタなど）の急性期で、他児に感染する恐れが強い。
- 感染しやすく、いったん感染すれば重症になる危険性が高い（血液腫瘍疾患や重症心疾患、重症腎疾患、膠原病、免疫抑制剤を使用している場合など）。

主な症状	受入可能な状態
体温	• 38.0℃未満。
嘔吐、下痢	• 脱水症状が無い。 • 水分が摂取できる。 • 連続した嘔吐、下痢が無い。
咳、喘鳴	• 呼吸困難、喘息発作が無い。 • 異常呼吸（努力呼吸、陥没呼吸など）が無い。
骨折、脱臼	• 保育者の介助や援助を受けながら食事や移動ができる。
麻疹	• 解熱後3日経過。
風疹	• 発疹の消失後。
水痘	• すべての発疹が痂皮化。
流行性耳下腺炎	• 耳下腺、顎下線、舌下線の腫張が出現した後5日経過。
インフルエンザ	• 発症後5日経過、かつ解熱後3日経過。
新型コロナウイルス感染症	• 発症後5日経過、かつ解熱後3日経過。
マイコプラズマ	• 解熱後24時間経過し、咳が改善。
RSウイルス	• 解熱後24時間経過。
ヒトメタニューモウイルス	• 解熱後24時間経過。
溶連菌咽頭炎	• 抗生剤の内服開始後24時間経過。
プール熱	• 主症状消失後2日経過。
ヘルパンギーナ	• 利用可能。
手足口病	• 利用可能。
ロタ、ノロ等 感染性胃腸炎	• 嘔吐していない、かつ下痢はトイレ内あるいはオムツ内に収まる程度であること。

※解熱後とは、原則として解熱剤の使用なく37℃台であることを指す。